

と共に日本の代表的な大會議である。

別子銅山の年議は、總同盟の指導下にはあるが、昔々大坂地方評議  
会が階級的立場より主眼として、殊に産業總本座が大坂にあるを幸ひ、位  
階の全無業労働者が比、年議に應援する事は当然の義務と信じ、年議団  
本座並に總同盟大坂聯合会に、應援を申込みると同時に、尚且大坂聯合  
会議長も、これが應援方法を決議するの標理定めた。

然るに、總同盟大坂聯合会執行委員会はこの階級的應援の中止を提議し  
然るに、これを多量同盟員並に一般組合員の意志を以て、其事を信じ、其  
の旨も應援の意志を覆覆す、年議本座の中より應援金を送ると同時に物質  
的にも精神的にも演説会其他、殊に各会場の毎に應援を極力した。

果してこの二、應援の地位は年議同盟員の意志を以てはなかつた。

年議同盟員、各年、應援を喜んで、受けたと同時に、尚且積極的の交  
援をして、果して出来ぬと出来ぬとあつた。

### 組織運動

地方評議会創立事務所は四組合であつたが、現在十組合と増加し、組合数

は、創立事務所が四百二十人より九千五百人へと激増してゐる。

創立以来新しくとくま北北組合はたの通りであつて、其の事實より各年の行動  
が如何に一般労働階級利益の為に、各本座階級と闘争してゐるかを雄弁に  
物語らう。

#### 大坂一般労働者組合

地方評議会組織と同時に創立し、後總同盟より脱退した使用合同労働組合  
と合同して八月六日、合同組合の公式をあげた。

#### 大坂木材労働組合

港に在る中として、初の全坂労働組合の外部に組織されてゐた、組合  
増加のため産業別と整理して、昨年七月十八日發会式をした。

#### 大坂紙織業労働組合

全坂労働者組合及び一般労働者組合と支部として、此處におかれ、組合管理  
加へ、産業別整理として、六月二十七日、發会式をあげた。

#### 櫻金屋労働組合

#### 櫻合同労働組合